

巡回展「ノーベル賞を受賞した日本の科学者」実施報告書

記入日：令和3年3月31日

館名・団体名	杉並区立社会教育センター
部署・担当者氏名	杉並区教育委員会事務局

1. 開催概要

開催期間

令和 3年 3月19日(金) ~ 令和 3年3月28日(日)

開催日数：9日間 ※25日は休館日のため、閉場

展示会場広さ（展示会場平面図があれば、別途添付してください）

約 287㎡

開催の様子（写真）※頁数が増えてもかまいません





2. 開催にあたって

開催までのながれ（設営・撤去における対応スタッフ数）

令和 3年 3月16日	展示物搬入
令和 3年 3月17日 ~ 令和 3年 3月18日	設営(4人)
令和 3年 3月19日 ~ 令和 3年 3月28日	開催
令和 3年 3月29日 ~ 令和 3年 3月29日	撤去(6 人)
令和 3年 3月30日	展示物搬出

内容および運営上の工夫があればご記入ください

- ・当センターで所有をしている「小柴昌俊博士とニュートリノ天文学展」と同時開催をし、ノーベル賞受賞者とともに、杉並名誉区民である小柴博士をより深く知ってもらう機会を設けた。
- ・密を避けるため、観覧者の動線を一步通行にした。

展示物に対する来場者の反応はどうでしたか

- ・30分～1時間程度、長い時間滞在をする方が多かった。
- ・ノーベル賞を受賞した日本人の多さに改めて感心した。
- ・是非、子供にも勧めたい。
- ・難しい内容を分かりやすい言葉で説明していた。
- ・とても見やすく、デザインも良いと思う。
- ・定期的にこのような展示をやってほしい。
- ・

3. 広報について

広報方法(チラシ等のデータがあれば、別途添付してください)

チラシ(10,000枚)ポスター(100枚)区内区立小中学校、区内関連施設(図書館・地域区民センター)へ配布。
区公式HP,
区広報
区公式ツイッター
J:com(地域チャンネル)



ノーベル賞を受賞した日本の科学者展

1949年の湯川秀樹博士の物理学賞受賞以来、科学分野では多くの日本人研究者がノーベル賞を受賞しています。この展示では国立科学博物館所蔵の資料より、個々の研究業績や幼少期のエピソードなどを紹介し、ノーベル賞受賞者をより身近に知っていただけます。

同時開催

杉並名誉区民・ノーベル物理学賞受賞

小柴昌俊博士とニュートリノ天文学展



昨年逝去された杉並名誉区民・小柴昌俊博士のニュートリノ天文学研究とその業績、また幼少期からノーベル賞受賞までの歩みを、豊富なパネル資料で紹介します。

小柴昌俊博士

大正15年(1926年)9月19日生まれ。岐阜県神岡鉱山においてカミオカンデ装置を使った観測を行い、昭和62年(1987年)2月に世界で初めて16万光年のかなたにある超新星からのニュートリノ(素粒子の1つ)を観測することに成功。その後、スーパーカミオカンデ実験など先駆的な研究により平成14年(2002年)にノーベル物理学賞を授与される。平成15年杉並区名誉区民第1号に顕彰。令和2年(2020年)11月12日逝去。



セッション杉並 1F 展示室

梅里1-22-32

東京メトロ丸ノ内線

東高円寺駅から徒歩5分

新高円寺駅から徒歩7分

3月19日(金)～3月28日(日)

10時～17時

3/25(木)は休館日のため
閉場します

入場無料

区公式HP



【お願い】・発熱や咳など風邪の症状のある方、体調がすぐれない方はご来場をお控えください。・来場時はマスクの着用をお願いいたします。・入場時は、手指の消毒や手洗いをお願いいたします。・館内では2メートル程度、人と人の間隔をあけてください。・入場の制限を行う場合がありますので、ご協力ください。・今後の状況により中止になる可能性があります。来場前に区公式ホームページにてご確認ください。

【問い合わせ】杉並区立社会教育センター

TEL: 03-3317-6621

【主催】杉並区教育委員会 【共催】独立行政法人 国立科学博物館